



世界に希望を生み出そう

FUJIEDA ROTARY CLUB

藤枝ロータリークラブ会報



第2465回
通常例会 / 小杉苑

会長: 山田 賀昭
副会長: 平野 純也

幹事: 村松 繁
副幹事: 辻 孝之・大杉 暢彦

● 会長報告

山田 賀昭君

みなさん、こんにちは
国際ロータリー第
2620地区 中
村皇積ガバナーより台湾東部地震災害に対する支援金



のお願いがきました。本日も引き続き募金活動をいたします。4月17日例会では25,765円集まりました有難うございます。5月8日の例会まで、あと2回の募金よろしくお願ひ申し上げます。4月19日 2620地区静岡第4グループ会長幹事会が開催いたしました。5月18日のIMの最終確認について会議が進められました、250～260名の参加登録の報告がありました、藤枝RCでは25名参加いただきました。有難うございます、次年度より入会されます朝比奈さんからIMの参加依頼があり出席登録いたしました、皆さんと同行いたしますのでIMのご案内をお願いいたします。そして都合つかず欠席の方に向けて袋井メロンが予定では5月22日例会の会場に贈られてきます。楽しみしててください、おみやげには袋井法多山限定だんごが用意されています。全員登録とあって参加者・欠席者にも気配りしたおもてなしを準備されています。また、在日ウクライナ大使館 セルギー・コルスンスキー大使のIM参加の確定できなくなった報告もありました。また、各クラブ報告のなかで次年度に向けて会費の値上げを検討しているクラブが複数ありました、値上げしなければ運営できないクラブは昼食費 3000円～5000円と非常に食費が高いクラブに共通しておりました。藤枝、藤枝南クラブからは発表した小杉苑さん食事1700円にはびっくりしておりました。現状の年会費で運営上の例会回数を事業予算を縮小して運営を工夫していくよう

な意見も出ておりました。

藤枝RCの年会費は、33年間220,000にて変わることなく運営してきました。年会費は現状で、最高の事業ができるよう工夫したクラブ計画書が引き継がた52年周年だと思ひます。これからも年会費変わらず、予算内できる工夫して進めていきましょう。今年度はクラブ内での募金活動が非常に多く皆さんに負担をおかけしました。クラブ会計から災害支援に向けた準備金も積立予算化していくことも必要だと意見が出ています。次年度に向けて理事会にて協議し検討できましたらお願ひします。

本日の例会は、2024-25年度地区研修・協議会の報告の例会です。地区協議会は、次年度役員、委員長並びに会員の研修会です。

RI会長の指針にそった地区、クラブ運営の方針が発表されると思ひます。単年度制で引き継がれていくロータリークラブですが、本年度からはクラブビジョン宣言を掲げ藤枝クラブのありたい姿への戦略計画をたてスタートしています。次年度RI会長の方針のもと、クラブビジョン宣言をより共有し、行動計画をたて、藤枝RCのありたい姿を目指し盛り上げていきましょう。それでは、本日の地区研修・協議会 卓話例会よろしくお願ひ申し上げます。

● 幹事報告

村松 繁君

- ・ロータリー東日本大震災青年支援連絡協議会より風の便り Vol.9 No.9が届きました。

● 出席報告

青島 彰君

本日のホームクラブ出席者	前回の補正出席者
28 / 40 70.00%	29 / 40 72.50%

(1)欠席者(事前連絡とメイクアップをどうぞ)

○内田君 ○江崎君 ○大杉君 河森君
○北島君 ○澤部君 ○菅原君 ○鈴木舜君
○玉木君 ○仲田晃君 ○松田君 望月君
○八木君

※○印は欠席連絡あり

(2)メイクアップ者

北島 毅君 (4/4 島田 RC)

● 会員卓話



会長エレクト
平野 純也君

次年度幹事
増田 貴行君



次年度会員増強
維持委員長
島村 武慶君

次年度ロータリー
財団・米山記念奨学
委員会
大塚 高弘君



ロータリー財団委員会森田副委員長 (浜松南RC) より報告・説明。

○財団寄付目標と次年度スケジュール

- ・年次基金寄付 150 ドル/人
- ・ベネファクター各クラブ 1 名以上 1,000 ドル/人
- ・ポリオプラス基金 30 ドル/人
- ・地区補助金申請締め切り 5 月 15 日

- ・財団セミナー8月4日 静岡グランシップ
- ・奨学金8月～10月募集、11月面接
- ・世界ポリオデー10月24日

・財団月間 11月

・古着 de ワクチンの継続 古着の回収をガバナー公式訪問日 (藤枝RCは8月7日) 予定

○財団補助金について

財団補助金は2種類。地区補助金とグローバル補助金

- ・地区補助金は、地元や地域社会のニーズに取組む為の奉仕事業を支援。地区の裁量で各クラブに補助金を配分します。

地区補助金は70名以下のクラブでは27万円
2023-24年度の実績は68クラブ参加、総額1639万2780円支援

- ・グローバル補助金は、ロータリーの重点分野に該当し、持続可能かつ測定可能な成果をもたらす大規模な国際的活動に支援します。実施例として、スリランカ、ニカウエラティヤ近郊のアガラウダ村 (水の無い極貧の村) に115世帯に深井戸、給水タンク、各戸への給水管を設置。維持管理の為に組合を組織し水道料金を徴収し持続可能な運営を図る内容の事業で焼津RC、焼津南RC、静岡南RC、2620地区が総額7万2千ドルで支援を実施中資金はどこから来るのか?説明。

1. 年次基金：毎年全会員にお願いする基金。3年運用しその全てが事業に使われる。
2. 恒久基金：元金を使わず、運用収益を翌年度活動に使用
3. 使途指定寄付：ポリオプラスや災害復興等プログラムを指定する寄付。

したがって、会員皆さんの寄付が資金となっている為、積極的に活用をお願いします。

○ポリオについて

ポリオ野生株による発症例。2024/1/1～4/9 パキスタン2、アフガニスタン2

ロータリーカードの利用でポリオワクチンの資金となります。

2023-24年ではロータリーカード利用還元で483万6334円あり生ワクチンで計算すると4万1336回分ありました。

また、ダイナースクラブカードを作成し、RI人頭分担金・財団寄付・地区資金をカードで支払うと利用額の0.3%が還元され2万円の利用

で60円寄付されポリオワクチン1人分になります。会員のロータリーカードの申し込みと利用、クラブカードの作成と利用をお願いします。

○ロータリー米山記念奨学支援

目的は、勉学又は研究の為に来日しわが国の大学等教育機関に在籍する外国人に対して奨学金を支給し、よってロータリーの理想とする国際理解と親善と平和に寄与する事。

使命は、日本で学ぶ優秀な外国人留学生に奨学金を支給し、親日家になってもらうよう接する中で、将来、日本と世界を結ぶ「懸け橋」となって国際社会で活躍する人材を育成すること。またロータリー運動の良き理解者になってもらう事。奨学事業は世界の平和を願って始まり、日本のロータリーに最もふさわしい国際奉仕事業であると古沢丈作氏が語った。

・寄付額は16,000円/人・年以上

ロータリー財団

100年以上前に創立されて以来、教育の支援や持続可能な成果を生み出すプロジェクトに総額40億ドル以上の資金を提供してきました。

財団の使命

ロータリー会員が人びとの健康状態を改善し、質の高い教育を提供し、環境保護に取り組み貧困をなくすことを通して世界理解、親善、平和を達成できるようにすること。

ポール・ハリス ソサエティ (PHS) の登録の推進

毎年1000ドル以上を個人的に年次基金、ポリオプラス、人道的補助金プログラム等に対し寄付する事を約束する事を登録。

ポリオ・プラス・ソサエティ (PPS) の登録の推進

毎年100ドルを財団の「ポリオプラス基金」へ寄付する事を約束する事を登録。



次年度 RLI 担当
村松 英昭君

福田清貴 甲府南 RC 委員長より次年度計画報告がありました。

冒頭、この地区で RLI が5年前に始まった動機、

そして FT 養成するために、FT 候補者が埼玉県、千葉県、東京都等の他地区に出かけ、RLI を受け、勉強をして、この2620地区で RLI が始まった経緯をはなされました。コロナ感染症が起こる前に1回の RLI が始まり、コロナ禍では ZOOM を使い RLI を行いました。その結果、全国で大変注目される地区となりました。今年度は、この5年間突っ走ってきましたので、ちょっとゆったりと進めていきたいと述べられ、セッションの人数を1セッション6名で行いたい、6セッションですので参加者人数は36名になります。そして、できるだけ、パート I から順位 II、III と受けて頂きたいと思いますと述べられました。

●ロータリーの友紹介 仲田 廣志君

『ロータリーの友 4月号紹介』
横組

7-13 頁 4月はロータリーの「環境月間」それに関連した記事。



半世紀前まで年1種だった地球上の動植物と昆虫の絶滅は、今年4万種に急増している。動植物を守っていくことは、環境を守り、人を守ることもつながる。日本のロータリークラブの各地で動植物の保護・育成に尽力している。国の特別天然記念物で絶滅危惧種に指定されているライチョウの保護活動に取り組んでいる長野県の岡谷エコーRCの記事。農地拡大のための基盤整備事業や自動車道の整備といった開発が進み、環境の変化により、絶滅が懸念される野草の保護育成に取り組んでいる富山県の南砺RCの記事。生きた化石と称されるカブトガニの保護活動に取り組んでいる岡山県の佐々岡RCの記事。短編記録映画「川に宿るいのちを見つめ続けて～北区河川生物生息調査の40年～」を製作した東京王子RCの記事。日本で数を大きく減らしている漆の植樹、育成医に取り組んでいる仙台奥羽RCの記事。

14-17 頁 能登半島地震でのロータリアンの迅速な支援そして助け合いの記事。ロータリーの深い絆を実感できる記事が掲載されている。

19 頁 会員倍増 あらたなるステージへ 人口減少の町で、会員29人から倍以上の59人を達成したクラブのアプローチの記事。

縦組

4-8 頁 「サステナビリティは、大人の宿題」「今こそ、環境を大事にした健全なビジネスを」の演題での講演記事。

9-12 頁 桂文珍の記事。大阪天満橋 RC に 2020 年 1 月入会。1948 年生まれ。



ソングリーダー…… 松葉 義之君
ソング…… 我らが藤枝ロータリー

四つのテスト



《5月の事務局開局日時》

月	火	水	木	金
6	7	8	9	10
閉局	閉局	9:30~ 16:00	10:00~ 16:00	10:00~ 16:00
13	14	15	16	17
閉局	10:00~ 16:00	9:30~ 16:00	10:00~ 16:00	閉局
20	21	22	23	24
閉局	10:00~ 16:00	9:30~ 16:00	10:00~ 16:00	閉局
27	28	29	30	31
閉局	10:00~ 16:00			

※ 開局日時は変更になる場合があります。
最新の情報は、ホームページでご確認ください。

事務局

〒426-0037

藤枝市青木 1-11-10 アクセス 21

TEL054-647-2300 FAX054-647-2040

E-mail: club1972@fujieda-rotary.org

(担当/勝又 徹君)